

## その他のヒグマ対策活動の実施状況（速報） （2017年10月末現在）

### 1. SNS 情報発信の試行

- ・2017年7月に開催したヒグマ対策連絡会議を経て、SNSを活用した情報発信（試行）を開始した。
- ・7月以降、Facebookにアカウント名「知床財団ヒグマ対策」で約70件の記事を掲載した。「日刊ヒグマ情報」を毎週、ヒグマの生態に関する記事を不定期に更新しながら、特に注意を要する情報に関しては随時発信を行った。

↓

- ・試行1年目ということもあり、強力な情報発信ツールとなるには至っていない。今後、より多くの人に見てもらえるような形態に変化させていく必要がある。例えば、使用するSNSはFacebookよりもTwitterが適しており、より多くの人に見られる可能性が高い。
- ・情報発信を強化するためには、知床のヒグマに関する公式ホームページが必要。公式ホームページとSNSを連動させて情報発信を行っていくことが望ましい。
- ・コメントへの返信をどのように扱うかについては検討が必要。特に駆除や誤射に関する記事については、丁寧かつ慎重な返信が必要であった。一方で、コメントを入れることができないような設計にする、もしくは、コメントに返信しないことを運営ポリシーとすることも考えられる。
- ・知床五湖の登録引率者の会合にて、一部ガイドより、SNSを使った情報発信がカメラマンを呼び集めること等に繋がっており、現地の混乱を助長しているという意見があった。

### 2. 普及啓発活動

#### 1) 児童や生徒を対象とした学校教育

小学校、中学校、高等学校を対象としたヒグマに関する内容を含む環境教育授業が主体。

表1. 実施状況 \*2017年度10月末まで

	実施回数	対象
斜里町	10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床ウトロ学校の1～9年生（5/20）</li> <li>・朝日小学校6年生を対象に知床についての環境教育授業（6/16）</li> <li>・斜里小学校6年生を対象に100平方メートル運動体験学習（6/29）</li> <li>・斜里小学校4年生を対象に100平方メートル運動に関する環境教育授業（7/4）</li> <li>・朝日小学校6年生を対象に100平方メートル運動に関する環境教育授業（7/10）</li> <li>・斜里小学校4年生を対象に100平方メートル運動体験学習（7/11）</li> <li>・斜里高等学校3年生を対象に知床自然概論（7/13）</li> <li>・知床ウトロ学校1年生を対象に環境教育授業（10/4）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜里高等学校 3 年生を対象に知床自然概論 (10/11)</li> <li>・知床ウトロ学校 2 年生を対象に環境教育授業 (10/25)</li> </ul>
羅臼町	8 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羅臼幼稚園の年長児 (7/20・31 名)</li> <li>・春松幼稚園の全クラス (9/26・58 名)</li> <li>・春松小学校の 5 年生 (8/25・17 名)</li> <li>・羅臼中学校の 1 年生 (10/25・33 名)</li> <li>・羅臼中学校の 3 年生 (6/7・33 名)</li> <li>・春松中学校の 1 年生 (10/25・19 名)</li> <li>・春松中学校の 3 年生 (6/29・17 名)</li> <li>・羅臼高等学校の 2 年生 (9/20・34 名)</li> </ul>
標津町	1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標津町内の 2 校の中学 1・2 年生 (9/13)</li> </ul>

## 2) 地域住民を対象とした講習や情報交換会

ヒグマやヒグマ対策などの理解を深める講習や情報交換会が主体。

表 2. 実施状況 \*2017 年度 10 月末まで

	実施回数	詳細
斜里町	1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北の海の動物センターと知床博物館主催の「北海道本島・北方四島の淡水魚類・陸生哺乳類・環境分野の日露共同経済活動」の中でヒグマに関する話題提供 (7/8)</li> </ul>
羅臼町	0 回	
標津町	1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒグマ対策及び外来種についての講演を実施 (標津建設業協会技術研修会) (4/7)</li> </ul>

## 3) 国立公園利用者を対象としたキャンペーン

2013 年度から 2015 年度まで「知床ヒグマえさやり禁止キャンペーン」が実施された。2016 年度以降、各関係機関が主体で取り組みの一部を継続している。

### 3. 岩尾別川及びその周辺におけるヒグマ出没への対応

- 8/10 岩尾別橋付近でクマが出現して渋滞が発生。追い払い実施。
- 8/14 岩尾別橋付近でクマが出現して渋滞が発生。追い払い実施。
- 8/21～ 岩尾別川河口部を中心に複数頭が出没。  
頻繁に出現していたのは亜成獣2頭（MK・MZ）  
岩尾別河口を見下ろすカーブに停車しカメラマンや観光客が待機する状況が度々発生。
- 9/1 岩尾別ふ化場から、河口部に出現したヒグマの追い払い依頼あり。  
「低水位かつ魚も少ない状況で、河口にクマがいると魚が川に入らないで海に戻ってしまう」とのこと。
- 9/1～ ほぼ連日のように岩尾別川河口部にヒグマが出現（MK・MZ・ワキイチ？）  
岩尾別河口を見下ろすカーブにカメラマンや観光客が常時待機するような状況が発生。  
\*MZ とワキイチは同一個体の可能性あり。
- 9/6 岩尾別河口を見下ろすカーブで渋滞が発生。
- 9/7 岩尾別橋付近で渋滞が発生。
- 9/8 岩尾別橋付近で渋滞が発生。
- 9/9 岩尾別橋上で渋滞が発生。
- 9/12 岩尾別橋上で渋滞が発生。
- 9/14 岩尾別温泉道路にガードマンボックスと看板を設置。駐車を防止するためのロープを設置。
- 9/14 岩尾別橋上で渋滞が発生。
- 9/17 岩尾別橋上で渋滞が発生×2回（写真1）。
- 9/22 岩尾別河口を見下ろすカーブで渋滞。
- 9/25 岩尾別川河口部で誤射事案発生（個体不明）。
- 9/26 道路管理者によりふ化場入口にロープと赤イ川作業道入り口にコーンが設置される。
- 9/27 道路管理者により岩尾別駐車帯川側外縁にバリケードと駐車禁止掲示が設置される。
- 9/27 岩尾別川右岸にカメラマンが立ち入り、対応スタッフとトラブル発生。
- 9/28 岩尾別川右岸に4名の立入情報あり。その後も何回か右岸への立入があったとの情報あり。
- 10/1 岩尾別河口を見下ろすカーブで渋滞。
- 10/7～9 岩尾別橋や岩尾別河口にヒグマが出現、渋滞や利用者がカメラを持って近づくような状況が発生（写真2）。  
岩尾別ふ化場に対策員が長時間待機し、河口にヒグマが出てもすぐに追い払う体制を試行。しかし対策員がいなくなるとすぐにクマが出現、連続カーブに渋滞が発生。
- 10/12 岩尾別の利用者対策に関する行政打ち合わせを実施。  
→シャトルバスの導入など根本的な解決のためには中長期的な取り組みが必要なことを確認、短期的には対処療法的な対応を行っていないといけないことを確認。また道路管理者との協議が必要なことも確認。
- 10/13～ その後も土日を中心に渋滞発生するが、利用者は徐々に減少。カメラマン数名が待機するよう

な状況。岩尾別川の河口周辺に常に複数等のヒグマが出現しているような状況。複数頭を対象に追い払いを行うこともあり。

11/2 ふ化場内に単独亜成獣ヒグマが侵入、畜養池の魚を食べる事案が発生。

11/3 柵の隙間や柵を乗り越えてヒグマがふか場内に複数回侵入、敷地内や建物の至近(1m以内)を徘徊。侵入のたびに追い払うものの行動は改善されず、環境省・斜里町との協議を経て、同日午後

後に捕獲(捕殺)。

\*渋滞に関する記述は、主なものを抽出。

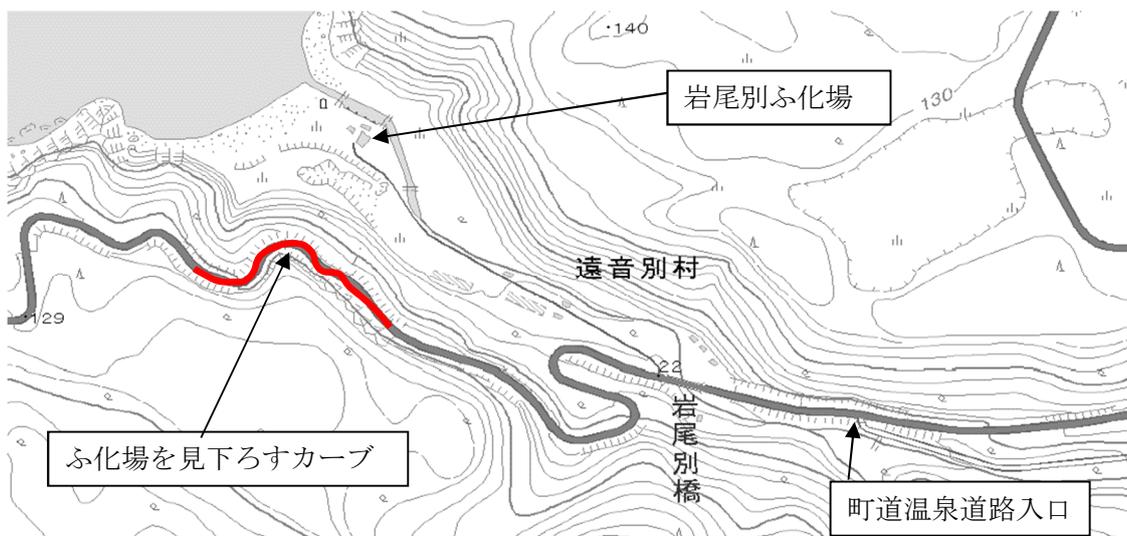


図1. 岩尾別河口周辺図



写真 1. 岩尾別橋付近の状況 (2017年9月17日)



写真 2. ふ化場を見下ろすカーブの状況 (2017年10月8日)